

27 年度

社会福祉法人 弘心会 事業計画書

社会福祉法人 弘心会 事業計画書

1、法人の基本理念

- ・ 「自立」と「安心、安全」をテーマに、利用者様や入居者様を中心とした基本的人権を尊重した信頼される介護を実践します。
- ・ 安心して家庭的な生活ができるよう多様な福祉サービスを提供します。
- ・ 行事や季節折々のイベントを組み合わせながら、目標のある生活、生き甲斐を持って生活ができるよう支援します。
- ・ 地域社会に貢献できる、地域の皆様から愛される法人となるよう、常に最善をつくしていきます。

2、法人の経営方針

「あなたの大切な家族は私たちにも大切な家族です」という理念のもと、ホスピタリティ精神を持ち、介護職としての“専門性”を発揮し、「大切な家族を思うように真心のこもった質の高い介護サービス・心からご満足していただけるサービス」を提供させて頂けるように努めます。また、常にオンリーワンを追究し皆様から愛される施設となる事を目指します。

特別養護老人ホーム ほうらい苑 ユニット型施設 定員 60名

入居者様一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭において、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を支援することを目指します。

今年度は提供する福祉サービスの質の向上と地域福祉の向上と増進に努める為、具体的に以下の取り組みを実施していきます。

(1) ユニットケアの取り組み

○ 24h シートの内容の充実

- ・ 各専門職の意見を取り入れた、より入居者様の個々の生活に沿った内容のものを作成していく。
- ・ ケアプランの内容の見直しも定期的に行いより充実したものとしていく。

○ 栄養ケアマネジメントの強化

- ・ 管理栄養士が中心となり、多職種と連携し入居者様の栄養管理に努める。生活の質を向上させるためにも「楽しく美味しい食事」をモットーに栄養ケアマネジメントに取り組む。
- ・ 食事の質の向上のため、必要に応じてコンペの開催や、盛り付けの仕方、ソフト食の提案など随時見直しをしていく。

- 機能訓練指導員と連携して、入居者様、利用者様の日常生活の向上を推進していく。常に最新の情報をとらえ、入居者様や介護職員の負担軽減となるような介護機器の導入も検討していく。

○ 介護主任、ユニットリーダーを中心として様々な課題に取り組む

- ・ ユニットリーダー研修実地研修施設となる
- ・ リスクマネジメント（事故防止）、感染予防対策、褥瘡予防、高齢者虐待防止、認知症対応、人権擁護など、委員会や研修を通じてケアの充実を図る

(2) 看取りケア体制の強化

- 介護支援専門員を中心として、看取り体制の構築・強化の推進を図り、その人らしい最後を迎えられる支援を多職種連携して支援する

- ・ 多職種のケアカンファレンス等を通じて、看取り実施後の検証、職員の精神的負担の把握と支援を行う
- ・ 看取りの指針内容、実施体制について適宜見直しを行う

(3) 人材確保・職場環境の改善

人材育成と職場環境（福利厚生）の充実に力を入れ、一人一人のスタッフがやりがいや働き甲斐を持って仕事ができるよう魅力ある施設づくりに取り組みます。

○ 人材確保

- ・ 業界のイメージアップに向け、ホームページ、ブログ、求人募集パンフレット等広報活動を積極的に行い採用活動を強化するとともに引き続き職員からの紹介制度も行っていく。

○ 職場環境（福利厚生）の充実に向けた取り組み

- ・ 連続休暇を最大5連休まで取得できるようにしていく
- ・ 誕生日は有給休暇を取得できるよう誕生日有給休暇を取り入れる
- ・ 職員がリフレッシュできるようサークル活動を増やしていく

(4) 資質向上

より質の高い介護サービスが提供できるよう指導内容を統一するため「ほうらい苑教育指針」の作成を行いその教育指針をもとに育成の強化をしていきます。そしてキャリア段位制度を取り入れ積極的にレベル認定を行っていき知識と技術の両面での向上に取り組んでいきます。

- ・ リーダークラスはアセッサー（介護プロフェッショナルキャリア段位制度）の取得を義務づけ、ほうらい苑教育指針とアセッサー評価基準をもとにOJTを通じて、新人職員及び一般職員の能力向上に取り組む。
- ・ 年間スケジュールにのっとり施設内研修を確実に実施していくとともに、外部研修へも積極的に参加できるようにしていく。

(5) 人事管理

人事管理制度の見直し・改善を行います。

- ・ 職員の採用（オリエンテーションの内容の見直し、改善）※特に服務規律に関しては採用時に必ず説明
- ・ 職員の配置（必要な部署へ適材、適所の配置）
- ・ 職員の処遇（職員の能力や資格、成果を反映する）
- ・ 職員の評価（適正かつ公平な評価に繋がるよう評価シートの見直し、改善を行う）
（※アセッサーの評価基準も評価に繋がるよう改善を行う）

(6) 消耗品の適切な利用と管理

物品や消耗品について、全フロア精査を行います。在庫管理の把握に努め、再度管理方法について見直しを行います。

- ・ 電気の消し忘れ、水道の出しっ放し等ないよう徹底して無駄なく使用する

(7) 稼働率管理

介護支援専門員・生活相談員と連携して、入居状況、待機者状況、空所状況を把握し、稼働率の向上に向け迅速に対応します。

(8) 加算管理

加算取得の内容を把握し、加算取得漏れのないよう努めます。加算担当者、専門職と情報を密にし連携して介護保険の法令理解に努めます。

施設内年間研修スケジュール

27年度 ほうらい苑年間研修スケジュール			
	テーマ	担当者	内容
4月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
5月	高齢者虐待防止・人権擁護に関する研修	加納介護主任	身体拘束や高齢者虐待防止に関しての理解を深めると共により良い介護を学ぶ。
6月	褥瘡に関する研修	西岡看護師 吉田機能訓練指導員	褥瘡発生のメカニズムや予防の徹底。
7月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
8月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。
9月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	昨年度の事故をもとに話し合う。 ヒヤリハットの必要性を学ぶ。
10月	看取りに関する研修	西岡看護師 峯ケアマネ	看取りに関しての指針、ターミナルケアの捉え方。
11月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
12月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
1月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
2月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	事故に関しての知識及び応急処置の実施を学ぶ。
3月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。

ほうらい苑ショートステイ 定員20名

ユニット型指定短期入所生活介護は、利用者様一人一人の意思及び人格を尊重し、指定短期入所生活介護の利用前の居宅における生活と利用中の生活とが連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者様の心身の機能の維持並びに利用者様ご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目指します。

(1) ユニットケアの取り組み

- 24h シートの内容の充実
 - 各専門職の意見を取り入れた、より入居者様の個々の生活に沿った内容のものを作成していく。
- 栄養ケアマネジメントの強化
 - ・管理栄養士が中心となり、多職種と連携し入居者様の栄養管理に努める。生活の質を向上させるためにも「楽しく美味しい食事」をモットーに栄養ケアマネジメントに取り組む。
 - ・食事の質の向上のため、必要に応じてコンペの開催や、盛り付けの仕方、ソフト食の提案など随時見直しをしていく。
- 機能訓練指導員と連携して、入居者様、利用者様の日常生活の向上を推進していく。常に最新の情報をとらえ、入居者様や介護職員の負担軽減となるような介護機器の導入も検討していく。

- 介護主任、ユニットリーダーを中心として様々な課題に取り組む
 - ・ユニットリーダー研修実地研修施設となる
 - ・リスクマネジメント（事故防止）、感染予防対策、褥瘡予防、高齢者虐待防止、認知症対応、人権擁護など、委員会や研修を通じてケアの充実を図る

(2) 人材確保・職場環境の改善

人材育成と職場環境（福利厚生）の充実に力を入れ、一人一人のスタッフがやりがいや働き甲斐を持って仕事ができるよう魅力ある施設づくりに取り組みます。

- 人材確保
 - ・業界のイメージアップに向け、ホームページ、ブログ、求人募集パンフレット等広報活動を積極的に行い採用活動を強化するとともに引き続き職員からの紹介制度も行っていく。
- 職場環境（福利厚生）の充実に向けた取り組み
 - ・連続休暇を最大5連休まで取得できるようにしていく
 - ・誕生日は有給休暇を取得できるよう誕生日有給休暇を取り入れる
 - ・職員がリフレッシュできるようサークル活動を増やしていく

(3) 資質向上

より質の高い介護サービスが提供できるよう指導内容を統一するため「ほうらい苑教育指針」の作成を行いその教育指針をもとに育成の強化をしていきます。そしてキャリア段位制度を取り入れ積極的にレベル認定を行っていき知識と技術の両面での向上に取り組んでいきます。

- ・リーダークラスはアセッサー（介護プロフェッショナルキャリア段位制度）の取得を義務づけ、ほうらい苑教育指針とアセッサー評価基準をもとにOJTを通じて、新人職員及び一般職員の能力向上に取り組む。
- ・年間スケジュールにのっとり施設内研修を確実に実施していくとともに、外部研修へも積極的に参加できるようにしていく。

(4) 人事管理

人事管理制度の見直し・改善を行います。

- ・職員の採用（オリエンテーションの内容の見直し、改善）※特に服務規律に関しては採用時に必ず説明
- ・職員の配置（必要な部署へ適材、適所の配置）
- ・職員の処遇（職員の能力や資格、成果を反映する）
- ・職員の評価（適正かつ公平な評価に繋がるよう評価シートの見直し、改善を行う）
(※アセッサーの評価基準も評価に繋がるよう改善を行う)

(5) 消耗品の適切な利用と管理

物品や消耗品について、全フロア精査を行います。在庫管理の把握に努め、再度管理方法について見直しを行います。

(6) 稼働率管理

生活相談員と連携して、入居状況、待機者状況、空所状況を把握し、稼働率の向上に向け迅速に対応します。

(7) 加算管理

加算取得の内容を把握し、加算取得漏れのないよう努めます。加算担当者、各専門職と情報を密にし連携して介護保険の法令理解に努めます。

施設内年間研修スケジュール

27年度 ほうらい苑年間研修スケジュール			
	テーマ	担当者	内容
4月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
5月	高齢者虐待防止・人権擁護に関する研修	加納介護主任	身体拘束や高齢者虐待防止に関する理解を深めると共により良い介護を学ぶ。
6月	褥瘡に関する研修	西岡看護師 吉田機能訓練指導員	褥瘡発生のメカニズムや予防の徹底。
7月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
8月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。
9月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	昨年度の事故をもとに話し合う。 ヒヤリハットの必要性を学ぶ。
10月	看取りに関する研修	西岡看護師 峯ケアマネ	看取りに関する指針、ターミナルケアの捉え方。
11月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
12月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
1月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
2月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	事故に関する知識及び応急処置の実施を学ぶ。
3月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。

ほうらい苑 デイサービスセンター 定員25名

1、 運営方針

- 従業者は利用者様の心身の特性を踏まえて、その利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排せつ、食事の介助など日常生活上必要な介護及び機能訓練を行います。
- 従業者は、事業の提供にあたっては懇切丁寧に行うことを主とし、利用者様又はそのご家族に対し、サービスの提供方法等について理解しやすいように説明を行います。
- 事業の提供にあたっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行います。
- 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

2、 ほうらい苑デイサービスセンターの取り組み

(1) 取り組み内容

- 利用者様の能力に応じたレクリエーションの提供
 - ・ 脳活性化を狙った脳トレーニング、身体機能の維持向上を目的とした月間計画書に基づいたレクリエーション、その他生活レクリエーションの提供
 - ・ 外部ボランティアの方々を積極的に招き入れ楽しいひと時を過ごして頂く
(日本民謡の語りべ、三味線奏者、マジックショー等)
- 介護相談
 - ・ 利用者様、家族様より在宅生活でのお悩みを専門的な観点から行うアドバイスや、ご担当ケアマネージャー様との連携による迅速な対応を行い、円滑な在宅生活を送れるよう支援する。
- 利用者様の能力に応じたレクリエーションの提供
 - ・ 担当者会議での決定事項やご本人様、ご家族様の希望に沿った個別ケアを提供します。
- 栄養ケアマネジメントの強化
 - ・ 管理栄養士が中心となり、多職種と連携し利用者様の栄養管理に努める。生活の質を向上させるためにも「楽しく美味しい食事」をモットーに栄養ケアマネジメントに取り組む。
 - ・ 食事の質の向上のため、必要に応じてコンペの開催や、盛り付けの仕方、ソフト食の提案など随時見直しをしていく。
 - ・ 月に一度は“特別食”（バイキング、揚げたて天ぷら、お寿司などの実演調理）を行い、栄養面はもちろん、実際の調理現場を見て香りを楽しみながら会食を楽しんで頂く。
- 機能訓練指導員、看護職員と連携して、利用者様の日常生活の向上を推進していく。
- リスクマネジメント（事故防止）、感染症予防対策、褥瘡予防、高齢者虐待防止、認知症対応、人権擁護など、委員会や研修を通じてケアの充実を図る

(2) 人材確保・職場環境の改善

人材育成と職場環境（福利厚生）の充実に関心をもち、一人一人のスタッフがやりがいや働き甲斐を持って仕事ができるよう魅力ある施設づくりに取り組みます。

○ 資質向上

一人一人の資質向上の為、キャリア段位制度を取り入れ積極的にレベル認定を行っていき知識と技術の両面での向上に取り組んでいきます。施設内研修は年間スケジュールにのっとり確実に実施していくとともに、外部研修へも積極的に参加できるように取り組んでいきます。

○ 人事管理

人事管理制度の見直し・改善を行います。具体的には以下の項目に沿って取り組んでいきます。

- ・職員の採用（オリエンテーションの内容の見直し、改善）※特に服務規律に関しては採用時に必ず説明
- ・職員の配置（必要な部署へ適材、適所の配置）
- ・職員の処遇（職員の能力や資格、成果を反映する）
- ・職員の評価（適正かつ公平な評価に繋がるよう評価シートの見直し、改善を行う）

施設内年間研修スケジュール

27年度 ほうらい苑年間研修スケジュール			
	テーマ	担当者	内容
4月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
5月	高齢者虐待防止・人権擁護に関する研修	加納介護主任	身体拘束や高齢者虐待防止に関する理解を深めると共により良い介護を学ぶ。
6月	褥瘡に関する研修	西岡看護師 吉田機能訓練指導員	褥瘡発生のメカニズムや予防の徹底。
7月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
8月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。
9月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	昨年度の事故をもとに話し合う。 ヒヤリハットの必要性を学ぶ。
10月	看取りに関する研修	西岡看護師 峯ケアマネ	看取りに関する指針、ターミナルケアの捉え方。
11月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
12月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
1月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
2月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	事故に関する知識及び応急処置の実施を学ぶ。
3月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。

(3) 消耗品の適切な利用と管理

物品や消耗品について、デイフロア精査を行います。在庫管理の把握に努め、再度管理方法について見直しを行います。

(4) 稼働率管理

デイサービス責任者・生活相談員と連携して、利用状況を把握し、稼働率の向上に向け迅速に対応します。

(5) 加算管理

加算取得の内容を把握し、加算取得漏れのないよう努めます。加算担当者、各専門職と情報を密にし連携して介護保険の法令理解に努めます。

ほうらい苑 居宅介護支援センター

1、 運営の方針

- 要介護状態や要支援状態にある高齢者に対して、ケアプラン作成等を行い、適正な居宅介護支援を行います。
- 事業所の介護支援専門員は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行います。
- 事業の実施に当たっては、利用者様の心身の状況やその環境に応じて、利用者様の意向を尊重し、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行います。
- 事業の実施に当たっては、利用者様の意思及び人格を尊重し、特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏ることのないよう公正中立に行います。
- 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、介護保険施設等との連携に努めます。

2、 ほうらい苑居宅支援事業所の取り組み

- 同法人の特別養護老人ホーム（入居・短期入所・通所）を持つ強みを活かし、総合的なサービスを提供します。また、各部門担当者との相互連絡を密接にし、利用者様のニーズや身体的状況等に合わせたサービスや情報を提供します。
- その人らしい人生を最後まで送って頂けるよう、在宅ケアの本質を最大限生かしてより安心して安全な地域生活を送れるよう支援していきます。
 - ・ 専門知識の習得を怠らず外部研修にも積極的に参加し、自己向上に努める。
 - ・ 法人内の専門職種とも会議や委員会、研修等を通じて連携することで、より良いケアプランを計画します。
- ケアプランと個別サービス計画書との連動性・整合性を高める為、ケアマネージャーはケアプランに位置づけたサービス担当者と情報共有を図り、ケアプランと個別サービス計画の連動性・整合性の確認を必要に応じて行います。

施設内年間研修スケジュール

27年度 ほうらい苑年間研修スケジュール			
	テーマ	担当者	内容
4月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
5月	高齢者虐待防止・人権擁護に関する研修	加納介護主任	身体拘束や高齢者虐待防止に関する理解を深めると共により良い介護を学ぶ。
6月	褥瘡に関する研修	西岡看護師 吉田機能訓練指導員	褥瘡発生のメカニズムや予防の徹底。
7月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
8月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。
9月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	昨年度の事故をもとに話し合う。 ヒヤリハットの必要性を学ぶ。
10月	看取りに関する研修	西岡看護師 峯ケアマネ	看取りに関する指針、ターミナルケアの捉え方。
11月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
12月	社会人としてのマナー・身だしなみ・接遇研修	日本現代作法会 総師範羽山京子先生	外部講師による接遇指導。
1月	感染症対策に関する研修・講義・実技	西岡看護師 中島管理栄養士	感染症の種類、感染経路の確認、排泄物の破棄方法等、実技も交えて学ぶ
2月	事故発生の防止に関する研修	加納介護主任	事故に関する知識及び応急処置の実施を学ぶ。
3月	介護基本技術研修・実技	加納介護主任 各ユニットリーダー	介護技術の復習及び各ユニットで問題となっている点への改善方法や取り組み内容について話し合う。